

狐虎の威を借る

① 虎百獣を求めて之を食らひ、狐を得たり。
は 獣たち 捕まえて 食べ 時

② 狐曰はく、「子敢へて我を食らふこと無かれ。
が 言うことには あなた 決して 私 食べては いけません

③ 天帝我をして百獣に長たらしむ。
は 天帝 我をして 百獣に 統率者に した

④ 今子我を食らば、是れ天帝の命に逆らふなり。
あなた 私 食べるの ならば このこと は 命令 逆らう こと である

⑤ 子我を以つて信ならずと為さば、
あなた 私 信用 でき ない 思うの ならば

吾子の為に先行せん。
私 あなた ため 先に行き ましょう

⑥ 子我が後に随ひて観よ。
あなた 私 の ついてき 見てください。

⑦ 百獣の我を見て、敢へて逃げざらんやかと。
獣たちが 私 どうして 逃げ ないことがあり ましょう かな いや、逃げ出します。

⑧ 虎以つて然りと為す。
は その通りだ 思った

⑨ 故に遂に之と行く。
だから そのままこれ 一緒に 行つた

⑩ 獣之を見て皆走ぐ。
は これ 逃げた

⑪ 虎獣の己を畏れて走ぐるを知らざるなり。
は が 自分 逃げた こと ない のである

⑫ 以つて狐を畏ると為すなり。
恐れている 思った のである